

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	コミュニケーション論入門Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0054			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	授業中に指示する。						
担当教員	松江 俊一						
到達目標							
①社会的事象に関して自分の考えを持ち、意見を述べることができる。 ②セルフキャリアデザインのための基礎的素養・考え方を身に付ける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要	事例を通して社会学の基礎を学び、個人と社会の関連性を総合的に把握する。						
授業の進め方・方法	中間試験は授業時間中に 5 0 分間の試験を実施する。期末試験は 5 0 分の試験を実施する。 定期試験60%、授業メモ・レポート・発表等40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることを心がけること。指定する方法で学習状況を記録し、試験準備等に役立てること。						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	SCDについて改めて考える		選択の自由がもたらす社会問題		
		2週	自分と他人		合意、コミットメント、尊厳、承認		
		3週	社会とルール		行為功利主義、規則功利主義、主意主義、主知主義		
		4週	心と身体、理想と現実		期待水準、願望水準 自分の仕事のイメージを具体化する		
		5週	生と死		どのように生きどのように死ぬか考える		
		6週	自由の概念		競争動機、理解動機、感染動機、因果律 チョムスキー、セヴァン・スズキ、藤原和博		
		7週	後期中間試験				
	4thQ	8週	身の回りの問題 地球規模の問題		THE GLOBA GOALS For Sustainable Developmentの把握		
		9週	食と健康 1		食を通じたコミュニケーション 食は生きる証、手間と時間の意味		
		10週	食と健康 2		貧困問題、飢餓問題を考える		
		11週	食と健康 3		SD 1～3、グループ発表		
		12週	人と自然 1		里山と社会の関係 ナラ枯れについて考える		
		13週	人と自然 2		気候変動について考える		
		14週	人と自然 3		グループ発表		
		15週	前期学習したことの総括		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0